

# 御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小



港区立御田小学校  
学校便り  
令和7年1月8日 No.9  
発行者 御田小学校長  
齋藤 恵



## さらなる成長を

校長 齋藤 恵

2025年になりました。新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は「巳(へび)」です。古代中国で生まれた暦法、十干十二支からすると、「乙巳(きのとみ)」という年だそうです。この年は、「乙」が発展途上の状態を差し、「巳」は、植物が最大限まで成長した状態を意味することから、これまでの努力や準備が実を結び始める時期、そんな期待膨らむ年と言われています。また、一般的にはネガティブなイメージをもたれるへびですが、白いへびはその希少性から弁財天の使いとされ、昔から豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物とされています。脱皮するたびに表面の傷が治癒していくことから、「再生」と「変化」を示し、医療、治療のシンボルともされています。

御田小学校では、三光キャンパスに移転してきて2年めを迎えます。思い返せば、昨年4月はたくさんの段ボール箱が残った状態で新生活をスタートしました。当初は、公共交通機関を使っての登下校や、これまでと違う施設に慣れることが大変でした。学校生活の決まりや約束ごと、新しい生活に合わせて変えていく必要がありました。様々なことが軌道に乗るまで少し時間がかかりましたが、子供たちの笑顔とその適応力の高さに助けられた毎日でした。白金の丘学園の校庭を借りての運動会や、新しい形の学習発表会も、保護者や地域の皆様のご協力とご理解のおかげで無事に実施することができました。今では、御田小学校三光キャンパスの児童として、落ち着いた学校生活を送ることができています。

今年は、この環境で学校を更によくしていくために、また、一つ一つの教育活動が子供たちにとっての「実」になるよう、「変化」することを恐れず、成長と進歩をしていきたいと考えています。そして、教職員一同「すべての教育活動は御田小学校の子供たちのために」ということを改めて念頭に置き、保護者、地域の皆様と手を携えながら尽力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、皆さんは、へびを触ったことはありますか。私は生き物全般好きなのですが、自分自身が巳年ということもあってか、爬虫類も好きな生き物です。子供の頃、家族旅行で行った山の中でへびの抜け殻を見つけ、大喜びで拾った記憶があります。また、若い頃、旅行先で首に巻かせてもらった経験もあります。へびは、触れてみるとさらさらで常温です。ちっともぬるぬるしていません。つぶらな瞳はなんとも可愛らしい生き物です(あくまでも個人の感想ですので、共感を得るのは難しいかもしれません)。また、「へびに遭遇したら咬まれる」というのは少し違って、へびは臆病な生き物なので威嚇をするのは人間が怖いからであり、自分から襲ってくることはめったにないそうです。チョロチョロと出している舌は、視界が狭く、耳も退化しているため、舌で空気中の匂いや味を舌で捉え、口の中にあるヤコブソン器官と言われる器官に送ることで周囲の状況を判断していると言われています。「へびの抜け殻を財布に入れておくとお金が貯まる」というジンクスもあるくらいですので、今年の干支でもあるへびを個人的には嫌わないでほしいなあ、と密かに思っているところです。

3学期、子供たちはそれぞれの学年のまとめの時期です。1年生から5年生までは進級に向けて、6年生は卒業に向けて学習を進めていきます。一人ひとりが自分の成長を感じられるよう、毎日の学びを大切にしていきます。

3学期、子供たちはそれぞれの学年のまとめの時期です。1年生から5年生までは進級に向けて、6年生は卒業に向けて学習を進めていきます。一人ひとりが自分の成長を感じられるよう、毎日の学びを大切にしていきます。



<学年より>

1年生

生活科の学習では「ひと・もの・こと」とのかかわりを体験する学びをしています。2学期には、自身で育てたアサガオのツルを使ったリース作りや校外学習で拾ったドングリを使った工作をしました。それぞれが工夫してオリジナルのリースを丁寧に作っていました。これからも「児童が自ら自立し生活を豊かにすること」の土台を培う学びを重ねていきます。



<書き初め会>

書写担当

新年の始まりにあたり、新年を迎えたことを喜び、新しい年への抱負を文字に込めて書写を行う、日本の伝統的な行事です。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で行います。学年で決められた言葉を書きます。1月の書き初め会へ向け、12月にも練習を行いました。各学級では、いつも以上に、真剣に紙に向かう姿を見ることができました。心静かに、紙と向き合い、同時に自分と向き合うこともできる貴重な時間です。冬休みに宿題にも書き初めが出されていたと思いますので、その成果を1月の書き初め会で存分に発揮し、伸び伸びとした元気のいい大きな字を書くことを目指します。

書き初め会で書いた作品は、「書き初め展」として互いの作品を鑑賞する機会をもちます。ぜひ、保護者の皆様も鑑賞にいらしてください。

<English day>

国際担当

港区では「国際理解教育」の充実を、今年度の特に取り組強化する事業としています。それを受けて、本校では全学年週に2回 NT の先生と共に行う「国際科」の学習に加えて、毎月第1金曜日を「English Day」として設定しています。

English Day では、友達や先生との挨拶を英語で行ったり、朝の会、帰りの会、始業終業の挨拶、教室の時間割の掲示を英語で行ったりして、子供たちが、英語に親しむ機会が増えるような取組を行っています。今後は、校舎移転後に新設された「English Room」の活用など、児童が更に英語に親しむ機会を増やしていきます。

<オンライン授業日>

ICT 委員会担当

緊急時の自宅学習を想定したオンライン授業を 1 月 21 日(火)に実施いたします。これまでのオンライン授業を経て、授業も円滑に進められるようになってきたと実感しております。成果がある一方、課題も見つかりました。それを踏まえて、遠隔でも児童が分かりやすい授業を展開できるよう、工夫していきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中大変恐縮ですが、ご予定の調整やお子さんの機器操作のサポート等、よろしくお願いいたします。

<漢字検定>

国語担当

「言語力」の向上を目指し、漢字検定受験の機会を 2 月 7 日(金)に設けています。昨年の 12 月中に申込みをした児童が対象です。合格に向けて、文字の点画や書き順等、ご家庭でも見てください。また、結果が返ってきたら、お子さんを褒めたり励ましたりしていただけたらと思います。当日、欠席をしまった場合は、再度受験ができませんのでご注意ください。また、級によって下校時刻が異なります。令和 6 年 11 月 29 日に配布したお便りを、再度ご確認ください。